

フォーラムニュース Vol.39 2022 6/1

発行：フォーラム・子どもたちの未来のために実行委員会

<http://www.f-kodomotachinomirai.com/>

文責：大竹永介

もうすぐ参院選★投票に行こう！

****6・25 フォーラムトークイベントのお知らせ****

私がこの一票に込める思いは？

ーウクライナ危機下の参院選を考えるー

★コロナ禍の終息も見通せないまま、まもなく私たちは参院選を迎えます。ロシアのウクライナ侵攻で高まる世論の危機感を利用して、政府与党は防衛力増強と改憲への道筋をつけようとしています。

しかし、と私たちは考えます。コロナ対策はもとより、止まらぬ値上げ、子どもの貧困、格差、気候変動、・・・と、私たちの周りにはすぐにでも解決してほしい問題が山のようにあります。投票は国の方向を決める大事な行為。★私たちが本当に望むもの、大切な一票に込める思いについて、子どもの本に関わる5人の方に語っていただきます。あなたの貴重な一票の指針となれば幸いです。

【講師紹介】



あさの あつこ

1954 年生まれ。青山学院大学卒。1991 年デビュー。97 年『バッテリー』で野間児童文芸賞、99 年『バッテリー2』で日本児童文学者協会賞、2005 年『バッテリー』全 6 巻で小学館児童出版文化賞を各々受賞。2011 年には『たまゆら』で島清恋愛文学賞を受賞するなど児童小説から一般小説、エッセイまで幅広く活躍。著書多数。岡山県在住。



澤田精一(さわた せいいち)

1948 年、千葉県に生まれる。福音館書店に入社後、「子どもの館」「こどものとも」「こどものとも年少版」「かがくのとも」の編集を担当。単著に『ひそませること／あばきたてることー絵本編集の現場から』現代企画室、『光吉夏弥一戦後絵本の源流』岩波書店があり、共著として『絵本と社会』『絵本ものがたり FIND』（ともに朝倉書店）などがある。



高田桂子(たかだ けいこ)

1945 年広島県生まれ。絵本『からからからが…』でデビュー。長編に『ざわめきやまない』（山本有三記念路傍の石文学賞受賞）、『ここから物語がはじまる』など。最近は、大人の本や随筆の世界に心惹かれて挑戦中。短編「トラベリング・コート」で、やましん文芸年間賞（山形新聞社主催）・小説部門の天賞受賞。随筆「いっぴき、にひき」で「香・大賞」銀賞受賞など。



垂石真子(たるいし まこ)

絵本作家・画家。多摩美術大学卒業。サンリオ退社後、子どもの本の道へと進む。音楽劇「ピーターと狼」のアニメーション制作。

絵本に「もりのおくりもの」「なみだ」「あついあつい」「ぷーちゃんシリーズ」「月へミルクをとりにいったねこ」「あなたこそたからもの」など。

挿絵に「ぞくぞく村シリーズ」などがある。



松本猛(まつもと たけし)

1951年生まれ。美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館を設立。同館館長、長野県立美術館・東山魁夷館館長、絵本学会会長を歴任。著書『いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて』『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』、絵本に『白い馬』『ふくしまからきた子』など。<http://www.takeshi-matsumoto.jp/>

日時：2022年6月25日(土曜日) 14:00～16:00

オンラインで開催：参加費無料＊定員：100人(先着順)

★下のQRコードか、URL <http://ptix.at/m9ZZF5>

からお申し込みください。



主催：「フォーラム・子どもたちの未来のために」実行委員会

絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会

●6月のフォーラムニュースをお届けします。近づく参院選を前にトークイベントのお知らせです●先日初来日したバイデン米大統領との首脳会談で、岸田総理は「防衛費の大幅増大」を表明。いわゆる「敵基地攻撃能力」についても可能性を排除しないと明言しました。国民的な合意はもとより、国会でも満足な議論はないままに、です●勇ましい掛け声ばかりが飛び交い、私たちの本当に望むものから政治がどんどんかけ離れていく、と感じるのは私だけでしょうか？●選挙（投票）は私たちの意思表示の貴重な機会です。皆さまのご参加をお待ちしています●皆さんの「今度の選挙に託したい気持ち」も募集します。f.kodomo.mirai@gmail.comまでメールでご意見をお聞かせください●「教育と愛国」というドキュメンタリー映画が話題になっています。私は来週観に行く予定のため感想が間に合わないのですが、先日その監督が書いた「何が記者を殺すのか」（齊加尚代／集英社新書）という本を読みました。毎日放送のディレクターとして様々な圧力に抗してドキュメンタリーを撮り続けた著者の奮戦記。教育への政治の介入を描いた「教育と愛国」を「ほとんどホラー」と評した映画人がいましたが、この本もまた、私たちの国の恐ろしいまでの「病根」を描き出しています●ではまた来月。お元気で！（0）